

令和4年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画（事業報告）

中長期計画（実施計画）について

1 在宅を中心とした安心して住める環境づくり			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	事業報告	事業報告	事業報告
1-1 社会保障制度の流れと地域の特性、ニーズに対応したシステムの整備・推進	①情報の収集・調査分析	a.国・県・市町村・日本医師会等情報の収集と調査・分析	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.各機関から収集した重点情報について医師会全体で共有し、対応（方針）を検討する。 【統括部】 1.診療報酬の改定情報を注視し、早期に対策を検討する 2.診療報酬の改定等、情報を収集し必要な対応等を検討する	1.診療報酬改定（令和4年度）への対応を実施した 2.介護報酬改定（令和3年度）への対応を継続して実施した 3.令和6年度W改定に向け、情報収集の為、研修会に参加した 4.第8次医療計画の情報収集のため、研修会参加した（2026年度新たな地域医療構想が開始される） 5.第8期益田市介護保険事業計画（令和3年度えっとまめなプラン） 6.働き方改革への対応（医師：R6.4月から、医師の日当直許可対応等実施済み） 7.病院機能評価受審をR4.10月に行い認定を受けた 8.病院を取り巻く課題・問題点を明確化、共有するために医師会病院「短期ビジョン」を作成し、共有を図った	1.第8期益田市介護保険事業計画（えっとまめなプラン）の内容の検証 ・生きがい活動の推進を目的とした活動として、外出支援や、土曜日の通りハスベースの有効活用について検討を行った ・通りハ休業時に、セラピストが利用者宅を訪問しリハビリテーションを提供した 2.新設の科学的介護推進加算の算定を開始し、年間約130万円の増収となった
		b.情報の集約、分析を中心となって担う体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.情報管理室の活用方法の検討 2.総務課内に情報管理室担当者を配置、後進の育成、組織化を目指す 3.医療センター内各部のスムーズな情報交換の方法を検討 4.医療センター内にある情報の把握（各システムで把握可能な情報） 5.現、情報発信状況の再確認・確実化	
	②少子高齢化社会に対応した医師会独自の地域医療・介護の体制づくり ・「地域包括ケアシステム」の推進 ・地域完結型社会の構築 ・地域医療、在宅医療への新たな対応	a.地域のニーズの把握	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.社会構造の変化に伴う地域のニーズについて、圏域内の諸会議を通じて把握・共有する 【統括部】 1.統括部の各事業所から現場意見を集約し、ニーズを把握する 2.地域の関連事業所、地域住民のニーズを収集する 3.要介護認定者、生活困窮者が増加する半面、居宅介護支援者、サービス提供事業所の減少の中で支える仕組みの検討		
		b.先進事例等の調査と検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.統括部とともに先進事例等を調査し、地域の医療介護に資する新たな取り組みについて検討する。→コロナの影響で調査できず。 【統括部】 1.先進事例の情報収集をする。→コロナの影響で調査できず。		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
		c.会員との連携	⇒	⇒	⇒	<p>【事業本部】</p> <p>1.会員と連携し、医師会資源を有効に活用した医療・介護の支援体制の構築に努める</p> <p>【統括部】</p> <p>1.会員訪問を継続実施（訪問3か所、他はアンケート実施）</p> <p>2.令和4年度より開始した新医療連携推進コーディネーター配置事業を活用した取り組みの実施</p>		
		d.行政等との連携	⇒	⇒	⇒	<p>【事業本部】</p> <p>1.行政等との連携を密にし、取り巻く状況やニーズの変化に適切に対応を行う</p> <p>【統括部】</p> <p>1.令和4年度より開始した新医療連携推進コーディネーター配置事業、在宅医療介護連携推進事業において、保健所、圏域市町との連携し、効果的に進める。益田保健所、益田市と各9回の会議を行う。</p>		
		e.医師会独自の「医療・介護推進プロジェクト」の推進 ・益田市との意見交換 ・医師会の役割（方針）検討 ・体制等検討 ・関係事業の実施	⇒	⇒	⇒	<p>【事業本部】</p> <p>1.「地域医療介護連携統括部」を核とした「医療・介護推進プロジェクト」を重点的に推進する</p> <p>2.「医療・介護推進プロジェクト」の推進方法の再検討を行う</p> <p>【統括部】</p> <p>1.令和4年度より開始した新医療連携推進コーディネーター配置事業、在宅医療介護連携推進事業において、保健所、圏域市町との連携し、効果的に進める。益田保健所、益田市と各9回の会議を行う。</p> <p>2.統括部の各事業所から現場意見を集約する</p>		
		f.地域内完結率の向上	⇒	⇒	⇒	<p>【事業本部】</p> <p>1.統括部・病院事業部と協力し、かかりつけ医との連携強化を図る（在宅療養後方支援病院の円滑運用）</p> <p>2.各種補助事業等を活用し近隣病院・介護事業所との連携強化を図る（連携会議や定期施設訪問、各種研修会等の実施による連携強化）</p> <p>【統括部】</p> <p>1.透析・ターミナル・呼吸器管理・補液のみの患者などを積極的に受入れる。日赤での出張相談は実施できず。</p> <p>2.他圏域の患者の受け入れ方法を検討する</p> <p>3.近隣の慢性期病院にて療養中の圏域内の方の受け入れ促進 萩慈生病院の訪問は実施できず。</p>		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
		g.在宅医療を維持するための体制の検討	⇒	⇒	⇒	<p>【事業本部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 在宅療養後方支援病院の活用を推進する 令和4年度より開始した新医療連携推進コーディネーター配置事業にて、訪問診療維持のための新たな仕組み等について検討する 医師会事業部内での在宅医療部門（へき地医療を含む）設立の必要性の検討を行う <ul style="list-style-type: none"> ・益田市と益田市国民健康保険医療施設 見道川・澄川診療所の今後の管理運営方針案を協議する ・上記に伴い、令和5年4月1日より地域医療事業部を設置した <p>【統括部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 在宅療養後方支援病院の登録者を増やす。（令和4年度末67名登録） 在宅医との意見交換会は開催できず。会員向けアンケートを実施 統括部の各事業所から現場意見を集約する 	<ol style="list-style-type: none"> 在宅療養後方支援病院の継続 在宅酸素療法患者の情報収集の検討 	
		h.へき地医療を維持するための体制の検討	⇒	⇒	⇒	<p>【事業本部】</p> <ol style="list-style-type: none"> へき地での医療拠点確保問題について、益田市と協議を行い、将来に向けた体制作りを行う <ul style="list-style-type: none"> ・1-②-gと同じ 		
		i.地域密着型サービスや在宅入居への業務進出の検討	⇒	⇒	⇒	<p>【事業本部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 他法人の地域密着型サービスや住宅入居等の情報収集を行い、地域ニーズを把握する 現時点でのこの分野への進出は人員問題で不可。但し現サービスで運営困難になった場合に再考する <p>【統括部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 統括部の各事業所から現場意見を集約する 医療近接型住まい、サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型共同生活介護など設置の検討は中止する 老人福祉施設の設置方法を探ることも中止する 		
		j.医療度の高い利用者の在宅支援	⇒	⇒	⇒	<p>【事業本部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 医師会事業部内での在宅医療部門（へき地医療を含む）設立の必要性の検討を行う <ul style="list-style-type: none"> ・1-②-gと同じ <p>【統括部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 統括部の各事業所から現場意見を集約する 在宅療養後方支援病院の活用を進める 退院後訪問の充実 訪問看護の活用を推進するための働きかけ <ul style="list-style-type: none"> 6月より、24時間体制ができなくなり、対象者はある程度限定される中で、将来の予測を踏まえた関わりを積極的に実施（支部会議に3回参加） 	<p>【くにさき苑】</p> <ol style="list-style-type: none"> 褥瘡、排便コントロール等について、訪問看護の看護師と相談・連携して行い、在宅復帰や在宅生活の支援を行った <p>【訪問看護】</p> <ol style="list-style-type: none"> 看看連携を強化するため、病院へ出向き直接情報提供を行った 	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
		k.医療と介護の地域連携システムの導入と運用	⇒	⇒	⇒	<p>【事業本部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.益田市スマートヘルスケア事業への協力継続（Iot を活用し血圧データ生活習慣に関する情報共有） 2.MCSCC との babytech での子育て支援の実証試験への協力継続→現在休止中 3. MCSCC との医療ヘルスケアに関する包括協定に基づく、新たな実証実験の検討 4.山陰パナソニックの技術を使った医療介護施設への実証実験を独自に行う。 5.メディアコンテンツファクトリーとの契約に基づくWEB 問診 SymView 運用の開始→現在休止中 6.厚生労働省が奨めるデータヘルス改革への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月よりのオンライン資格確認の原則導入準備は、会員はほぼ導入か設置予定 ・令和5年1月からの電子処方箋の導入に関しては、調剤薬局への導入が遅れており連携には時間が必要 ・医師資格証は、令和4年度21名発行（合計24名） <p>【統括部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.令和4年度からの新医療連携推進コーディネーター配置事業で情報共有ツールを検討したが導入できず 2.地域連携室・包括・居宅介護支援事業所の連携強化、情報の共有化(医療介護連携統括部の管理権限強化、医療・介護連携委員会の機能増強) 		・10月より再度協議を開始。1月よりくにさき苑実証実験用機器を設置し検証でき調整中
		l.在宅医療・介護連携推進事業の推進 ・コア会議による益田市との調整 ・医師会実施事業について検討 ・体制等検討 ・事業の実施	⇒	⇒	⇒	<p>【統括部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.益田市や保健所と協議しながら、円滑に事業を進める→9回定期会議の開催を実施 2.在宅医療・介護連携推進協議会で、実施事業の報告と課題解決を図る（8/8 書面参加、2/10 参加） 		
2 医療機能再編への対応			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	事業報告	事業報告	事業報告
2-1 地域医療構想 応じた医療機能 再編に必要な対策 の検討と推進	①「地域医療構想」への 対応	a.「地域医療構想」の検証と対応検討 ・情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒	<p>【事業本部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.引き続き情報収集に努め、圏域保健医療対策会議等を通じて圏域内の意見調整を図りながら、医師会としての対応方針について検討を継続する 	<ol style="list-style-type: none"> 1.「地域医療構想」について、病院としての対応を継続して検討する 2.2026年度に始まる新たな「地域医療構想」に向けて検討する 	
		b.病床機能の検証 ・必要な病床機能の検討 ・地域外流出実態の調査	⇒	⇒	⇒	<p>【事業本部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.各事業部・統括部と協働し、患者動態や在宅復帰の状況等のデータを蓄積し、病床再編計画による病床機能・病床数について引き続き分析・検討する 	<ol style="list-style-type: none"> 1.病床機能再編の検証、次に備えるデータの蓄積を継続する 2.患者・利用者の流れ、Patient Client Flow Management（以下、PCFM）の確立を継続して行っている。 	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
						<p>【統括部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 益田圏域における医療実務者会議を 1 回開催し、圏域内完結率アップを検討 2. 病床稼働率、在院日数、必要度の動向把握 3. 当該医療機関との情報交換のシステム作り（電話協議を行い、複数の病院から理解は得ている） 4. 慢性期病床待機者の把握と当該医療機関訪問（電話協議を行い、複数の病院から理解は得ている） 5. 益田日赤での出張転院相談をコロナ感染状況で実施できず 	<p>3. 当院で可能な病棟機能の検討・明確化の為、短期ビジョンの作成・周知を行った。</p>	
		c. 外来医療の機能の明確化・連携（医療法）【令和4年4月1日施行】			⇒	<p>【事業本部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機関に対し、医療資源を重点的に活用する外来等について報告を求める外来機能報告制度の創設等についての分析・検討を開始 		
②他医療機関との連携と役割分担の検討	a. 医療センター内での各病棟・施設との役割分担の検討		⇒	⇒	⇒	<p>【統括部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病床活用カンファレンス、医療・介護連携委員会の活用 2. 統括部内で、病棟～老健～在宅間のスムーズな流れの検討を行うとともに、1 症例ごとに相談・調整を行う 	<ol style="list-style-type: none"> 1. PCFM の確立 2. 職員に向け、各病棟の役割への理解を深める 	
		b. 圏域内の他医療機関との役割分担の検討	⇒	⇒	⇒	<p>【統括部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療連携実務者会議の継続実施 2. 益田赤十字病院・地域連携担当者意見交換会再開（10/4に開催） 3. 在宅医療・介護連携推進のための多職種研修会を開催（2/15） 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 他病院との会議等で連携を深め役割分担について引き続き検討する 	
③病床機能ごとの運営方針の検討と策定 ・急性期機能 ・回復期機能 ・慢性期機能	a. 急性期機能の運営方針の検討		⇒	⇒	⇒	<p>【統括部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 在院日数、看護必要度、選定療養費など管理の徹底により受入れ、回転などの促進を図り、更なる高度な管理を行っていく 2. 困難事例に関して 1 回/週の病床活用カンファレンスでの状況把握と、メンバー内での周知・調整以外にも発信を促す 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の疾病の特性について調査し整理する 2. 急性期機能の在り方について検討する 3. 公的病院等 2025 プランにて計画化する 4. 4 階病棟の在り方と PCFM の確立 5. 看護師不足の中、急性期機能の患者数に左右されない体制構築を検討する 	
		b. 回復期機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	<p>【統括部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 回復期リハビリ病棟の入院料 I の継続と稼働率向上 2. 部署による実績評価に伴い、困難事例等の委員会内での把握と調整を行う 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の疾病の特性について調査し整理する 2. 回復期機能の在り方について検討する 3. 公的病院等 2025 プランにて計画化する 4. 地域包括ケア病棟の在り方と PCFM の確立 5. 回復期リハ病棟の在り方と PCFM の確立 6. コロナ禍の中で回復期・慢性期機能が病院経営の基盤を支えている 	
		c. 慢性期機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	<p>【統括部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療療養病棟入院基本料 I 堅持と稼働率の向上 2. 特殊疾患病棟の稼働率向上 3. 部署によるベッドコントロールを支援する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の疾病の特性について調査し整理する 2. 慢性期機能の在り方について検討する 3. 公的病院等 2025 プランにて計画化する 4. 医療療養病棟の在り方と PCFM の確立 5. 特殊疾患病棟の在り方と PCFM の確立 6. コロナ禍の中で回復期・慢性期機能が病院経営の基盤を支えている 	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
2-2 地域医療構想に 応じた介護機能 の対応策の検討 と推進	①他介護施設との連携と 役割分担の検討	a.医療センター内での各病棟・施設との役割分担 の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床活用カンファレンス、医療・介護連携委員 会の活用 2.各施設訪問にてニーズの見極め、住み分けの 検討	1.目的・役割・理念の明文化及び浸透 2.次工程の明確化（PCFM の確立、患者・利 用者をつなぐ・受け取る） 3.各病棟の管理職体制を見直し（師長・主任2 名の配置）方向性をしっかり職員に落とし込む 体制を整えた 4.看護部体制が大きく変わる中、体制の構築と 新しい管理職への育成と支援を継続する	1.週 1 回の病床活用カンファレンス・医療介護連 携委員会を活用し、医師会病院からくにさき苑 への流れを推進した（一般病棟より26名、包 括より23名、回り八より5名が入所）
		b.圏域内の他介護施設との役割分担の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田圏域における医療実務者会議を1回 開催 2.各施設訪問にてニーズの見極め、住み分けの 徹底	1.他の介護施設との会議等で連携を深め役割 分担について引き続き検討する	1.居宅介護支援事業所を訪問し、介護支援専 門員や利用者の意見を聞いた 2.施設訪問やアンケートを実施し、圏域における 老健の役割の検討を開始した
	②機能ごとの運営方針の 検討と策定 ・介護期機能	a.介護期機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒		1.利用者の疾病の特性について調査し整理する 2.介護期機能の在り方について検討する 3.各機能としての在り方と PCFM の確立 4.介護医療院の機能・メリットを活用する 5.介護医療院での短期入所の検討 6.病棟との連携強化（医療との連携推進、「在 宅」機能の活用）	1.毎月開催の通り八会議において、運営に関する 検討を継続した
	③役割分担と必要な体 制整備の検討	a.介護医療院としての運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.介護医療院の効果的な利用方法を検討する	1.介護医療院としての在り方と PCFM の確立 2.「日常的な医学管理」「看取りや・ターミナルケ ア」、介護機能、生活機能「生活施設」の3つ の機能を持つ体制とする。 3.在宅復帰や他施設への転所による流動性を確 保するかの検討 4.介護医療院の機能・メリットの活用を継続する 5.介護医療院での短期入所の検討	
		b.介護老人保健施設としての機能の強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療・介護連携委員会にて超強化型老健の 要件のチェックを適宜行う		1.在宅復帰支援機能超強化型を維持した 2.サービス内容・体制等についての検討を行った 3.通り八利用者数の確保、またケアの質向上のた めに介護支援専門員対象のアンケートを実施 し、現状把握と対策の検討を行った
		c.入所待機者を見据えた受け入れ体制の構築	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在院日数、看護必要度、選定療養費など管 理の徹底により受入れや各病棟、老健の移動 などの確に行う		1.長期入所者確保のための対応の継続し40人 程度を維持した（3/31時点、35人） 2.待機者リスト（院内・在宅）を作成・活用しベ ッドコントロールを行った 3.定期的に益田赤十字病院・松ヶ丘病院相談 室との情報交換を行い高齢者を受け入れた （日赤から7名、松ヶ丘より1名） 4.毎週、居宅ミーティングに参加している統括部 長より情報を収集し、利用対象者の検討及び 確保を行った 5.リハ科と協働し、医師会病院一般病棟、包括 ケア病棟、回復リハ病棟より利用対象者の洗 い出し・選定を行い受け入れた（一般病棟よ り26名、包括より23名、回り八より5名入 所）

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
								6.六日市病院や萩慈生会との情報交換により、 利用対象者の洗い出し・選定を行う。新型コ ロナ感染症の流行により実施できなかった
2-3 地域医療構想に 応じた在宅医療 機能の対応策の 検討と推進	①在宅医療への支援・検 討	a.調査に基づく在宅医療支援（必要性）の検 討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会事業部内での在宅医療部門（へき地 医療を含む）設立の必要性の検討を行う ・1-②-gと同じ 【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の積極的な利用 2.在宅医との意見交換会により支援策を検討 3.退院後訪問や訪問看護の活用を検討	1.在宅医療への支援体制の必要性について検 討する 2.常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能 の新設の必要性について検討する 3.新しい訪問サービス体制について検討する	
	②機能ごとの運営方針の 検討と策定 ・在宅医療機能	a.在宅医療機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在宅医との意見交換会で在宅代診医システ ムを検討 2.会員訪問（アンケート調査）実施	1.利用者の疾病の特性について調査し整理する 2.在宅医療機能の在り方について検討する	【訪問看護】 1.圏域在住の高齢者の病気の現状や、入退院 の多い疾患の調査の検討。人員体制が整わな かったため次年度へ持ち越し
	③在宅復帰できない患 者・利用者への対応	a.療養病棟の形態変更の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.人員的に困難であることはあるが、障害者施設 等入院基本料算定の検討	1.療養病棟の在宅適応患者が退院するための 支援体制について検討する 2.在宅困難ケースの増加に伴う、24 時間訪問 看護・介護サービスの提供について検討する （医師会全体で） 3.現在の病棟機能から漏れる利用者の救済方 法について検討する 4.医療療養病棟の在り方の検討を行い、介護医 療院との連携を検討する 5.在宅サービスの周知と連携の検討	
		b.次工程の明確化（PCFMの確立、患者・利用 者をつなぐ・受け取る）	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床活用カンファレンス、医療・介護連携委員 会で検討 2.統括部内で、病棟～老健～在宅間のスムー ズな流れの検討	1.在宅医療への支援体制の必要性について検 討する 2.常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能 の新設の必要性について検討する 3.新しい訪問サービス体制について検討する	
3 医療・保健・福祉サービスの提供			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	事業報告	事業報告	事業報告
3-1 益田圏域の医療 ニーズへの対応	①癌治療の変化への対 応の検討	a.最新の癌治療の情報収集	⇒	⇒	⇒		1.治療方法、治療の紹介先、緩和ケア、終末期 等の情報を集積し、必要な提供を行う	
	②高齢者医療の充実	a.高齢者の増加に対応できる診療体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.老年内科医師の検討 2.認知症対応力の強化 3.訪問診療の検討 4.益田圏域に特化した医療（医師）の把握・ 強化	
		b.高齢者の増加に対応できる看護体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.増加する高齢者に対応できる看護体制につい て検討する 2.夜勤の負担軽減（看護補助者の夜勤導入 等）について検討する 3.夜勤3人体制を目指す	
		c.高齢者の療養環境の整備充実	⇒	⇒	⇒		1.ICT（見守り機器等）の導入活用の検討 2.院内デイケアの検討・整備	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
③増加が懸念される疾病への対応		a.糖尿病患者を支援できる体制の確立	⇒	⇒	⇒		1.糖尿病支援ネットワーク事業を推進する 2.糖尿病療養指導士の資格取得・継続支援を推進する 3.院内に在籍している療養指導士等の活用について検討する 4.のぞみ会の活性化 5.腎臓内科との連携	
		b.肺炎等増加する疾病への対応の確立	⇒	⇒	⇒		1.増加する肺炎等へのより適切な対応について検討する 2.誤嚥性肺炎等、歯科医師会、歯科衛生士会、言語聴覚士等での協働 3.摂食嚥下障害看護認定看護師の育成を検討する（点数化への取組） 4.呼吸器内科専門医との連携 5.歯科衛生士の採用及び、リハ科への配置を行った	
		c.慢性腎臓病（CKD）等腎臓疾患への対応	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.透析が必要となれば、状態に応じて、医療療養病棟・くにさき苑の使い分けを図る	1.腎臓内科開設を機会とし、益田圏域での中核的な役割を目指す 2.CAPD 管理の構築（既存症例の管理継続と新規症例の受け入れ） 3.管理栄養士活用による栄養指導の推進、集団指導の開始	
④独居等の環境要因による入院への対応		a.在宅生活の維持が困難な方や通院手段がないなど社会的入院への対応	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.レスパイト的入院、くにさき苑短期入所・入所の使い分けの促進。 2.病床活用カンファレンス、医療・介護連携委員会で協議	1.介護医療院での短期入所の検討 2.地域包括ケア病棟での在宅直入の対応強化 3.医療療養病棟でのレスパイトの受け入れ検討 4.介護医療院の機能・メリットを活用	
⑤増加する認知症患者への対応		a.認知症患者の療養環境の充実	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.松ヶ丘病院、認知症疾患医療センターとの連携強化、定期的な利用相談体制の確立 2.認知症初期集中支援チームの活用、協働	1.認知症へ対応できる体制について検討する 2.認知症ケアの質向上のため人材（認定看護師、認知症介護基礎研修等）を育成する 3.認知症高齢者増加対応として院内デイケアの設置を検討する 4.レクリエーション可能な院内デイサービス、宅老所の設置等について検討する 5.ICT を活用した見守りシステムの検討・整備	
⑥リハビリテーション医療の充実		a.入院リハの機能充実	⇒	⇒	⇒		1.入院リハ単位数増加（125,000 単位/年） 2.リハ目的の入院の増加 ・一般病棟・地域包括ケア病棟の 365 日リハの実施 ・各病棟におけるリハ機能の明確化 ・開業医、他の医療機関、居宅介護支援事業所、行政などに対する定期的な啓発活動のシステム化の確立 ・病院療法士必要数の確保（PT20名、OT15名、ST5名） ・リハ診察時の負担軽減への取組 3.歯科衛生士の採用及び、リハ科への配置を行った	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
		b.外来リハの機能充実	⇒	⇒	⇒		1.外来リハ単位数増加（11,000 単位／年） 2.紹介件数の増加 ・紹介件数の集計と分析体制の確立 ・リハ対象者のパンフレット作成、見直し化システムの確立 ・開業医、他の医療機関、居宅介護支援事業所、行政などに対する定期的な啓発活動のシステム化の確立	
		c.地域活動の充実	⇒	⇒	⇒		1.地域ケア会議への参加 2.介護予防事業へ参入を実施した ・地域ケア会議・介護予防に関わる職員の育成・登録推進 ・行政など関係機関との連携体制の確立 ・市内他施設の療法士との連携体制の確立	
3-2 益田圏域の保健 等ニーズへの対応	①予防医療の推進	a.人間ドック受け入れ枠の拡大	⇒	⇒	⇒		1.医師等の確保に努める 2.午後の検診、サンデー検診、レディース検診の実施について検討する 3.コロナ禍の中での検診業務の在り方を検討する 4.スマートヘルスケア事業への協力	
	②休日健診の検討	a.休日健診の実施検討	⇒	⇒	⇒		1.休日健診の実施について検討し、体制についても検討する 2.休日乳がん検診に加えて、休日レディース検診として、子宮がん検診とセットで行うなどの取り組みについて検討する 3.仕事の効率化等、人員不足の解消策について検討する	
	③予防の推進活動（予防の重要性の周知）	a.健康予防の情報提供、健康相談の充実	⇒	⇒	⇒		1.益田地域産業保健センターとの連携を強化し予防活動を推進する	
		b.普及啓発活動の実施	⇒	⇒	⇒		1.あらゆる機会を通じ、予防の重要性等について周知する	
	④特定保健指導の推進	a.特定保健指導のニーズを調査し、必要な体制整備の実施	⇒	⇒	⇒		1.動機付け支援の検討	
3-3 益田圏域の介護 等ニーズへの対応	①入所サービスの充実	a.増加する認知症高齢者への対応検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.松ヶ丘病院、認知症疾患医療センターとの連携強化、定期的な利用相談体制の確立。 2.認知症初期集中支援チームの活用、協働	1.認知症ケア委員会のあり方及び認知症利用者におけるリハビリ効果の判定を実施した 2.認知症実践者研修を11月に受講 3.集中的なリハビリテーションを提供するための体制づくりをした（認知症短期集中リハビリテーション研修の受講、勉強会等）	
		b.かかりつけ医、精神科医、歯科医師会・薬剤師会との連携強化のための取り組み	⇒	⇒	⇒		1.迅速な情報提供・共有による連携強化に努めた	
		c.ケアプランの充実のための取り組み	⇒	⇒	⇒		1.ケアプラン係を中心に、ケアプランの点検や作成手順についての勉強会を開催（5月）、ケアプラン作成の手順書を作成した 2.施設内外で開催される研修会へ積極的に参加した	
	②レスパイトケア・緊急入所に対応した短期入所療養介護の充実	a.休日・夜間における緊急受入体制の確立	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の積極的な利用	1.看護部との協働により、緊急受入手順の見直しを開始した 2.対応手順の周知を図る。見直し中であるため実施していない	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
		b.医師会他事業所との連携による支援体制の構築	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療介護連携統括部主導によるベッドコントロール・権限強化 2.紹介患者様の状況により、関連部署と相談・調整のうえ受け入れ（変更）		1.支援体制強化のため、病床活用カンファレンス・医療介護連携委員会・居宅ミーティングでの情報共有・連携に努めた 2.地域連携室・医療介護相談室との連携および医師会病院・南棟部署との協同によるサービス提供に努めた 3.毎週金曜日の統括部ミーティングにおいて、地連、日赤より得た情報をもとに利用対象者の検討を継続した
	③通所リハサービスの充実	a.個別性、継続性のあるサービスの提供	⇒	⇒	⇒			1.毎日ミーティングを実施し、リハマネ加算対象の是非を検討するなど、個別性のあるサービスの提供に努めた 2.通所リハ計画を多職種で検討した
		b.成果の総合的評価と情報提供	⇒	⇒	⇒			1.書面による定期的な情報提供に加え、適宜電話による情報提供も行った
		c.通所リハビリテーションの役割（あり方）の検討	⇒	⇒	⇒			1.毎月、通所検討会で現状を報告、協議をした 2.他施設の状況を調査し、検討会で報告した 3.積極的に研修会へ参加した 4.通所リハの方針・ビジョンの見直しを継続した 5.災害時等、休業時の対応を整備し、休業の際、セラピストが居宅を訪問してリハビリを実施した
		d.リハビリテーションマネジメント加算 A・B 取得するための体制づくりを目指す	⇒	⇒	⇒			1.リハビリテーションマネジメント加算 A・B の算定体制を整備・維持した 2.リハビリテーションマネジメント加算 A・B 算定のため、対象者の選定基準、手順を検討した
		e.生活行為向上リハビリテーション実施加算の算定を目指す	⇒	⇒	⇒			1.算定要件を満たす研修の受講を推進した 2.ミーティングにおいて対象者選定を行った
	④訪問看護サービスの充実	a.他事業所（病院・施設・居宅等）との連携強化	⇒	⇒	⇒			1.退院前カンファレンス等、他事業所との会議へ参加しスムーズに在宅に移行できるようにした 2.退院後の様子を病院へ情報提供した（3件） 3.事例検討会等を行った（21件）
		b.ケアの質向上のための取り組み	⇒	⇒	⇒			1.事例の振り返りや技術研修を行った
		c.新たな訪問看護サービスの検	⇒	⇒	⇒			1.会員アンケートの実施。人員体制整わず次年度に持ち越し
	⑤居宅サービスの充実	a.行政や地域の状況を収集、把握するための取り組み	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.市包括支援センター・居宅介護支援事業所との連携強化（情報交換・共有体制の構築） 2.医療・介護連携委員会の活用（病院～老健～在宅間の流れの構築）		1.オンラインや資料配布により、年2回開催される介護支援専門員連絡会への参加と伝達研修を実施した

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
		b. 困難ケースの積極的な受入れのための取り組み	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 市包括支援センター・居宅介護支援事業所との連携強化（情報交換・共有体制の構築） 2. 地域福祉権利擁護事業、生活困窮者自立支援事業の活用 3. 病院事業部・くにさき苑事業部との情報交換、緊急時の対応依頼		1. 地域包括支援センターとの連携を図り、適時困難ケースの訪問を行った 2. （分離される） 中部包括支援センターとの連携体制を構築し、新規相談や同行訪問を実施した
	⑥ 訪問介護サービスの充実	a. ケアの質向上のための取り組み	⇒	⇒	⇒			1. 毎月の定例会で勉強会を実施した（9月まで） 2 「自己評価表」による自己評価を実施予定（10月）。休業が決まったため中止 3. 接遇やケアの統一を目的とした利用者アンケートを実施した 4. 調査結果から課題を抽出・情報共有し、見直しを行った
	⑦ 訪問リハサービスの充実	a. ケアの質向上のための取り組み	⇒	⇒	⇒			1. 研修会や施設内勉強会への参加による人材育成 2. 介護支援専門員との意見交換の体制確立（訪問調査等） 3. 訪問リハ終了後の社会参加に関する情報収集のシステム化 4. 他施設の状況や当事業所に関するデータ分析等により、益田市における訪問リハの在り方を明確にする
4 利用者サービスの向上と創出			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	事業報告	事業報告	事業報告
4-1 利用者サービスの向上	① 安全な医療環境の整備	a. 安全管理者の養成	⇒	⇒	⇒		1. 看護部以外の医師、診療部、事務部でも医療安全管理者の養成を行う 2. 安全管理者の介護医療院への配置	1. 老健リスクマネジャー 2名受講（R5 受験予定）
		b. 医療事故発生時の対応体制の確立	⇒	⇒	⇒		1. 法律等の施行に合わせた体制の更新等を実施する	
		c. 臨床工学科の機能の強化による医療機器の安全の確保	⇒	⇒	⇒		1. 臨床工学科の継続的な人材の育成・確保について検討する 2. 体制の見直し（病院機能評価受審に向けて総務課と協働する中で検討していく）	
		d. 院内感染対策の充実に向けた取り組み	⇒	⇒	⇒		1. 標準予防策遵守に必要な環境の整備を行う・院内清掃について見直しを行う	1. 医師会病院に準じた感染予防対策を継続した
		e. 院内感染発生時の対応の強化	⇒	⇒	⇒		1. ICT 活動を充実（時間の確保）する 2. 保健所との連携を強化する 3. 感染防止対策地域連携加算の継続 4. 益田赤十字病院・松ヶ丘病院との連携の継続 5. アウトブレイク時の担当者支援体制の構築 6. 後進の育成 7. 介護医療院への感染対策担当者の配置	1. 介護施設としての新型コロナ感染予防・対策を他職種で協議し、くにさき苑感染BCP案（感染対策マニュアル）として取りまとめた 2. 今後の参考とするために、クラスター発生時の対応について記録を残した 3. 通所リハのBCPを作成し、12月22日に訓練を行った

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
		f.薬剤科による安全な薬剤管理の充実	⇒	⇒	⇒		1.薬剤の安全性の向上 2.薬剤管理サマリー等による保険薬局との連携 3.介護医療院の薬剤管理体制	
		g.放射線技術科による安全な放射線管理の充実	⇒	⇒	⇒		1.医療放射線安全管理責任者を中心とした医療放射線安全管理体制整備の構築	
	②緩和ケア（在宅・院内）への対応	a.緩和ケアチームの体制強化	⇒	⇒	⇒		1.緩和ケアチームの体制強化について検討する ・緩和ケアチームの継続と強化 ・入院・外来・在宅ケアチームの確立と連携 ・認定看護師の介入による実践力強化	
	③NSTや褥瘡などの診療の質を上げる委員会の活用	a.NSTや褥瘡などの診療の質を上げる委員会の運営方法の再検討	⇒	⇒	⇒		1.栄養サポートチーム加算取得を目指し再検討する	
	④診療・看護・介護の質を上げるための組織体制づくり	a.診療の質を上げるための部門の検討	⇒	⇒	⇒		1.皮膚・排泄ケア及び摂食・嚥下障害看護認定看護師の育成について検討する 2.排尿自立指導料取得のための専門看護師の検討を行い、排尿ケアに係るチームの設置し、年度内に届け出を行った（次年度より算定開始）	
		b.診療の質を上げるための「働き方改革」の推進	⇒	⇒	⇒		1.一人一人の生産性の向上と向上のための教育・支援体制の構築と機会の提供	1.判定会議に出席する人数の適正化を図るとともにiPadを活用し情報共有を開始した 2.リハビリ実施単位数の増加による時間外労働等への影響を調査した
		c.既存部署毎に診療・看護・介護の質を上げるための対応策の実施	⇒	⇒	⇒		【共通】 ・短期ビジョンを作成し、課題・問題点の明確化及び共有を行った ・病院機能評価受審に向けて各部署と協働する体制を構築、各部署の課題・問題点を表面化させ、協働する体制を構築し、各部署の充実を図る。併せて次世代の育成も図った 【診療部】 1.人材確保、人材育成、スキルアップ支援 ・職能団体等の育成教育研修等の活用を図る ①薬剤科 1)病棟薬剤業務実加算取得への取り組みを実施し、医療療養病棟、一般病棟に配置した 2)病院薬剤師会認定薬剤師の育成 3)がん、緩和、感染、栄養、腎臓病、糖尿病、精神、老年薬学等、各種専門性を有した薬剤師の育成 4) バイオ後続品導入初期加算指導料算定への連携	1.看介護 ・防犯対策として1階出入口等4か所に防犯カメラを設置した（11月） ・LIFEデータ送信開始（4月）、フィードバック情報を計画の見直しへの活用を検討した ・インシデントの共有、事故の分析・対策の実施をし、安全対策体制加算の算定を継続した ・権利擁護推進員養成（1名）、認知症介護実践研修受講（1名）、高齢者ケアにおける倫理研修受講（1名） ・外国人技能実習生受入事業の準備を通して、介護の質の向上に努めた ・学研ナーシングサポートを活用し知識の向上を図った 2.通所リハビリテーション ・入職時、異動時、復職時に研修を行い、その後も必要に応じて通所リハビリテーションの役割を確認した ・体制変更に伴い、情報の伝達方法や方針を検討した

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
						<p>②放射線技術科</p> <p>1)計画的な機器整備と補助金の確保</p> <p>③リハビリテーション科</p> <p>1)計画的な機器整備</p> <p>2)センター内におけるリハ機能の明確化と啓発</p> <p>3)365 日リハ提供体制の検討（一般病棟、地域包括ケア病棟）</p> <p>4)地域ケア個別会議や介護予防事業等への連携体制の確立</p> <p>5) RE-Gait の導入を行い、活用促進のため研修会を実施した</p> <p>6) 歯科衛生士（1名）をリハ科に配置を実施した</p> <p>④臨床検査科</p> <p>1)日本臨床衛生検査技師会 精度保証施設認証制度への検討</p> <p>⑤臨床工学科</p> <p>1)透析室との協働</p> <p>2)内視鏡室との連携、他診療部との連携</p> <p>⑥栄養科</p> <p>1)栄養管理の充実・質向上</p> <p>2)病棟看護師等の負担軽減のための取り組み</p> <p>3)管理栄養士の病棟配置の検討と業務調査</p> <p>・管理栄養士病棟（常駐）配置</p> <p>・栄養管理の充実・質向上</p> <p>・病棟看護師の負担軽減</p> <p>・他施設機関への栄養情報提供強化</p> <p>・病棟業務の作業分担、業務の調査、検討</p> <p>・配置病棟時間の検討</p> <p>・給食管理業務、その他業務の見直し、業務量調査</p> <p>・部門業務の整理（管理栄養士でなくてもできる業務）</p> <p>・科学的介護情報システム（LIFE）への対応</p> <p>⑦医療介護相談室</p> <p>・患者・利用者の流れ（PCFM）の把握と構築（Patient Client Flow Management）</p> <p>【看護部】</p> <p>・看護部体制が大きく変わる中、新たな体制の構築と新しい管理職への育成と支援の実施を継続して行っている</p> <p>1.人材育成、スキルアップの支援</p> <p>2.次世代管理職候補の選定と育成を継続して行っている</p> <p>3.師長・主任の認定看護管理者教育課程への計画的な参加（R4年度、2名参加）</p> <p>4.管理職へ理念の浸透と経営意識形成と醸成を継続して行う</p>	<p>・適正人員数の把握と検討を継続した。</p> <p>3.リハビリテーション科</p> <p>・グループ会議をサービス(入所・短期入所)ごとに実施し、より綿密にサービスの質向上のための検討を行った</p> <p>・各サービスにおけるリハビリの役割やあり方を明確にした。</p> <p>・リハ機能強化のための機器整備を計画的に行った。</p> <p>・必要な人員数の維持ができた。</p> <p>・リハ科・看護部共同による勉強会を企画した。</p> <p>・入所前後のデータ比較を実施した。</p> <p>4.相談員</p> <p>・随時、他施設相談員・介護支援専門員との情報交換を行った。</p> <p>・ケアマネ協会からの情報や広報誌より研修会に関する情報収集を行った。</p> <p>・LIFE に必要なアセスメント・データ入力・処理を事務課と協力して実施した。</p> <p>5.栄養科</p> <p>・栄養マネジメント強化加算算定に向け、要件確認等の準備を行った。</p> <p>・LIFE データ入力のための情報収集を適切に行った。</p> <p>【訪問看護】</p> <p>1.事業所内で技術研修（カフティポンプ、PCA ポンプ、ポートへの穿刺）を実施、外部研修（エコー研修）へ参加した。</p> <p>2.研修報告会を開催し、研修内容の伝達・実施を図った。</p> <p>3.事例検討、インシデント報告等（5件）によるサービスの振り返りを行った。</p> <p>【訪問介護】</p> <p>1.毎月のモニタリングで計画とのすり合わせを実施した。</p> <p>2.毎月開催の定例会において、事例をあげて、分析や協議を行った。</p> <p>【居宅介護支援事業所】</p> <p>1.全員参加で事例検討会を行い、ケアマネジメント技術の向上を図った。</p> <p>2.オンラインの活用等により積極的に研修会へ参加し、伝達研修を実施した（17件）。</p>	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
			02	03	04	事業報告	事業報告	事業報告
							5.認定・特定・医療安全等への人選と育成支援 6.看護部の働き方改革 ・看護部事務クレークの配置の検討 ・看護部内タスクシフト・シェアの検討 7.教育の支援体制 ・各自で学べるeラーニングを継続し、コロナ禍でも学習機会の提供、また自己学習や院内研修にも役立てる（看護・介護職員対象） 8.TQM 活動にて、主任職への教育プログラムを作成・実施した ①外来 1)内視鏡検査技師の育成 2)病棟応援体制の構築 ・入院時、病棟応援看護師業務の確立 ②手術室 1)病棟応援体制の検討 ・日当直時、手術対応患者来院の際の応援体制の検討 ③保健予防センター 1)保健予防センターの機能促進 2)健診枠の拡充 ・人間ドック受入れ人数の増加 ・特定保健指導の実施（管理栄養士との協力体制が必要） ・疾病予防のための活動の推進（休日乳がん検診、休日検診、事業所健診、特定健診などの実施） ・健康教室の開催（メンタルヘルス対策への外部活動） ・ストレスチェック事業 ・心の相談業務など ・職員の健康保持増進についての支援の取組み ④医療安全対策室 1)安全な医療・介護の提供 ・リスクマネジメントにおける職員教育 ・多職種協働、患者参加の推進 ・職場環境の整備 ・安全な医療機器の取り扱い ・部門間の協力、情報共有 ・改善活動の推進 ・転倒・転落防止対策 ・医療事故対応 ⑤感染対策室 1)感染対策環境の充実 2)感染管理認定看護師の育成 ※病棟に関しては 7-2・3・4 にて	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
						【事務部】 ・病院機能評価を通じて全体の取りまとめ、調整、情報共有、方向性を支持する役目を担い、事務職員としてのマネジメント能力を高めた 1.人材育成、スキルアップの支援 ・スキルアップのための資格取得への支援を継続して行う 2 事務職員として理念の浸透と経営意識の形成を継続して行う 3.組織ビジョンの共有と実現のために「自ら考え行動する」を継続して行う 4.「変化・変革」に対応するイノベーターシップ（マネジメント+リーダーシップ）の醸成 5.医療・介護現場からのタスクシフト・タスクシェアの検討及び実践 6.令和4年度、病院機能評価受審を成長の機会とした 7.事務職員としての必要なスキルの把握と周知 8.令和6年度医療マネジメント学会事務局として準備する		
4-2 情報発信、広報活動の実施と充実	①より効果のある広報活動の展開	a.広報活動体制の見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.各事業部と連携して、効率的でより効果のある広報活動が展開できる体制について検討し必要な見直しを行う	1.効率的でより効果のある広報活動が展開できる体制について検討し必要な見直しを行う	
		b.情報誌（双葉他）の魅力化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.業務支援課準備室による情報発信の強化。医師会報誌「双葉」のリニューアルを行い、魅力的な会報誌を目指している 【統括部】 1.連携室だよりの発行と充実	1.魅力ある誌面作りについて検討する	1.魅力ある誌面作りについて検討（くにさきだより）。係（担当者）がそろわず、検討できなかった
		c.リニューアルしたホームページの活用	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.業務支援課準備室による情報発信の強化 益田市医師会グループウェアの利用促進を図り情報発信の充実を図った 【統括部】 1.在宅医療介護連携推進事業内容を適宜更新する ・多職種連携のための「ちえぶくる」（令和4年度版）の情報を更新し、HPの掲載と冊子の印刷を行う 2.統括部の役割・体制について掲載内容を充実させる		
		d.インターネット（HP・SNS）の活用促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.業務支援課準備室による情報発信の強化 Instagram を開設し若年層をターゲットにした情報発信を行った	1.インターネットを活用した病院の周知対策として、新たな発信方法を展開する	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	事業報告	事業報告	事業報告
		e.関係機関や地域への広報の実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.業務支援課準備室による情報発信の強化 Instagram の開設・益田市医師会グループウェアの利用促進、定期的な更新による情報発信を構築	1.多くの媒体を利用した広報対策について検討し実施する	
5 医師会共同利用施設活用への支援と利用促進			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	事業報告	事業報告	事業報告
5-1 会員が利用しやすい共同利用施設の運営	①会員が利用しやすい共同利用施設の運営体制	a.会員医師と職員との連携強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.会員訪問結果の分析と活用	1.会員医師との連携を強化し共同利用の推進に努める 2.会員と常勤医師の協議の場を設定する 3.毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、事業部全体へフィードバックを行う	
		b.より良い関係構築のための方策検討	⇒	⇒	⇒		1.毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、必要な方策について検討する 2.医師会各施設より、幅広い情報提供を行う	
		c.地域医療介護連携統括部による会員との連携強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れ 2.会員の要望を的確に収集し、関連部署に連絡	1.各事業部の利用動態について定期的に報告・協議を行い、連携を強化する 2.地域医療介護連携統括部内の相談員同士での情報交換を密にし、相互利用活性化を図り、会員に適切な情報を提供する	
	②地域医療支援病院としての機能の充実	a.紹介患者に対する医療の提供 紹介率の向上対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.会員訪問結果の分析と活用 2.紹介患者のスムーズな受け入れ	1.会員との連携強化（紹介方法・受入態勢等）について検討し実施する 2.退院調整能力の向上について検討し、紹介率の向上を図る 3.地域医療介護連携統括部と病棟との連携強化 4.退院調整看護師の増員等による退院支援の充実について検討する 5 入院時の対応強化と退院調整への流れの確立（点数化への取組）	
		b.救急の維持対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.日赤との連絡会議で検討 2.救急車の受入れ推進	1.圏域救急病院と役割を分担し圏域の救急医療の一翼を担う 2.会員の協力体制について検討する	
		c.共同利用の促進対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.会員訪問結果の分析と活用	1.医療機器等の共同利用の更なる利用について検討し、利用率の向上に努める 2.ニーズ・必要性・経営等、多角的に検討し最新医療機器・備品の整備を行う 3.医療材料等の共同購入の検討	
		d.地域の医療従事者に対する研修の実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.令和4年度からの新医療連携推進コーディネーター配置事業、在宅医療介護連携推進事業を活用した研修会の開催、介護事業所での出前研修の開催 ・出前研修は4件実施	1.会員医療機関、介護施設他の従事者に対して医師会研修会の開放を行う 2.医師会医師会、薬剤師会との共同の研修会を開催する 3.病院・くにさき苑が研修受入機関となり研修生を受け入れる 4.島根大学医学部附属病院スキルアップセンターとの協働	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
		e.かかりつけ医の支援対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の積極的な利用 2.在宅医との意見交換会で支援策を検討 3.退院後訪問や訪問看護の活用を検討	1.在宅療養後方支援病院として、かかりつけ医の診療支援 2.対応困難な診療への支援 3.休診・休日・夜間の支援体制の検討 4.医師会員のニーズに対応した体制の検討	
		f.医師少数地区等を支援対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医師の意見交換会で検討	1.地域医療拠点病院としての事業を展開する	
	③開放型病棟、手術室の利用促進	a.会員の手術室利用の強化	⇒	⇒	⇒		1.耳鼻咽喉科手術体制の継続	
	④共同利用検査機能の充実（臨床検査センター以外の検査）	a.検査の紹介数の向上の検討	⇒	⇒	⇒		1.効率的な運用により予約枠の拡大について検討する 2.放射線検査オンライン予約システムの導入について検討する 3.放射線検査画像、検査レポートの受け渡し方法について検討する	
		b.既存検査機能の拡大	⇒	⇒	⇒		1.検査機能の補完（益田赤十字病院の検査部門をバックアップ機関として使用させてもらうための協議を行う（検査項目、手順））について検討する 2.検査機能の拡大（不妊治療のための検査設備の充実（外来部門、採精室の整備））について検討する	
		c.最新検査機器の整備検討	⇒	⇒	⇒		1.ニーズ・必要性・経営等を踏まえ、毎年高額機器等購入計画で整備を行う 2.整備にあたっては補助金を検討し、活用する	
	④臨床検査センターの安定した運用	a.臨床検査センターの運用データの収集	⇒	⇒	⇒		1.開設以降の各種データを収集・蓄積する	
		b.臨床検査センターの運用について会員意見聴取	⇒	⇒	⇒		1.医師会員訪問に同行し、意見聴取を行う	
		c.臨床検査センターの運用方法の検討	⇒	⇒	⇒		1.収集したデータ・意見等を元に運用方法について検討する 2.臨床検査センター独自での検体取扱件数増加への取り組みの検討（スマートヘルス事業への協力や給食施設の検便等） 3.保健予防センター（企業検診等）との協働の検討 4.益田市スマートヘルスケア事業への協力	
	⑤透析室の安定した運用	a.透析部門の組織化の検討	⇒	⇒	⇒		1.透析部門の確立	
		b.必要な人員・機材の確保	⇒	⇒	⇒		1.患者数に応じた人員・機材の確保 2.器材の標準化。それによる材料費削減 ・益田赤十字病院との標準化	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
		c. 取り扱い患者の増加	⇒	⇒	⇒		1. 新規患者の受け入れ ・旅行患者・里帰り患者の受け入れ開始 ・送迎サービスの検討 ・透析高齢者の受入可能施設の増加を推進 ・患者様増加時、1日2クール体制への取組 2. 腎臓内科を含めた今後の透析患者の把握	
		d. 新規診療報酬算定項目の情報収集と推進	⇒	⇒	⇒		1. 透析リハビリテーション料の開始 2. 血液透析アクセス日常管理加算の検討	
	⑥ 共同利用施設としての 介護施設の利用促進	a. 介護医療院、介護老人保健施設の入所利用者の会員紹介数の向上の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 利用方法のPR 2. 会員訪問結果の分析と活用 3. 紹介患者のスムーズな受け入れ	1. 患者・利用者の流れ（PCFM）の確立（Patient Client Flow Management） 2. 介護医療院の機能・メリットについて活用する	1. 統括部と協働し、会員の利用（紹介）促進に努めた 2. 利用に関する情報提供と利用状況の分析を行った 3. 集中的なりハビリを提供できるように体制を強化した
		b. 短期入所、通所リハの利用者の会員紹介数の向上の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 利用方法のPR 2. 会員訪問結果の分析と活用 3. 紹介患者のスムーズな受け入れ	1. 介護医療院における短期入所の検討	1. 週2回の空床状況の連絡を行い、利用促進に努めた
		c. 訪問看護、訪問リハ、訪問介護の会員利用者の紹介数の向上の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 利用方法のPR 2. 会員訪問結果の分析と活用 3. 24時間体制ができないことを了解された方の積極的な受け入れ（変更） 4. 10月末で訪問介護事業の休止	1. 訪問リハでの診察への対応検討	【訪問看護】 1. 必要時、訪問診療に適宜立ち会い、情報共有、意思決定に関わった（新規紹介22名、在宅看取り9名） 2. 24時間対応中止したため、利用者の状況を慎重に見極めて紹介を受け入れた 3. 相談を受けたがお断りせざるを得ないケースが35件あった（4・5月管理者交代や訪問看護師の体調不良等：17件、6月～24時間対応ができない等：18件）11月以降はお断りしていない
		d. 居宅介護支援事業所、地域包括支援センターの会員との連携強化の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 利用方法のPR 2. 会員訪問結果の分析と活用 3. 紹介患者のスムーズな受け入れをする		【居宅介護支援事業所】 1. 状況に合わせて、積極的な紹介受入れを継続した 2. 可能な範囲でMCSを活用し情報共有を行った
5-2 医師会としての 会員支援の検討	① 開業・廃業・継承時の 支援	a. 支援方法の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 山陰合同銀行とタイアップした支援業務のマニュアル化の推進 ・理事会で承認された開業・承継・廃業サポートプログラム作成中（1月に4名の会員の意見聴取）		
	② 会員医療事故への 対応	a. 医療事故支援体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 医療事故研修会等への参加を促進する 2. 医療事故相談体制について検討する		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
	③診療所経営に関する支援	a.診療報酬等の算定支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.研修会等の実施 2.適正在庫での購入方法の検討		
		b.薬剤診療材料削減方法の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.学術講演会及び病院主催の技術研修会の開催等の実施		
	④会員医師の生涯教育の推進と技術の向上	a.医療技術の生涯教育への支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.マニュアル化を進める		
	⑤三師会共同の取り組みの推進	a.歯科医師会・薬剤師会と連携した取り組みの検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.糖尿病の医科歯科薬科連携事業（島根県歯科医師会 地域保健部が主体で実施）に協力の継続	1.適切な薬剤選択支援	
6 地域社会への貢献			計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04			
6-1 大規模事故・災害時の援助体制の整備充実	①大規模事故・災害援助体制の確立と支援体制の整備	a.災害時の益田市医師会の役割の確定・益田地域災害医療対策会議への参加	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会議等での情報収集及び益田市地域防災計画の理解を深め、防災対策委員会で周知を図る 2.新型コロナウイルス感染防止に対応し、ワクチン接種事業、への参加、行政や関係機関との協業体制づくり ・令和4年度も引き続きワクチン接種業務、診療検査医療機関としての対応、自宅療養者支援事業を医師会として協力した。 ・県からの要請により年末年始の医師会発熱外来を設置（12月31日、1月3日）63名受診		
		b.大規模事故・災害時の連絡体制の確立と通信方法の確保	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.衛星電話等、大規模災害時の連絡体制の確保を検討する 2.職員への一斉通知・安否確認等の方法について、整備を検討する		1.無線の更新にあたり、災害時に強いWi-Fiネットワークを整備した（1月）
		c.大規模事故・災害対応に関する規程類の作成	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.地震に関するBCPの作成。 2.介護施設での感染に関するBCPの雛形の作成	1.本部と協働してBCP（危機管理における事業継続計画）の作成を行った。次段階として感染症流行時の事業継続計画の作成を予定 ・介護医療院の設置完了	1. B C P 作成。素案策定までで、完成には至らず ・くにさき苑入所・短期入所サービス、通所リハでの設置。訪問看護、居宅準備中
		d.行政等が行う災害訓練への積極的な参加と、医師会独自の訓練の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.石見空港航空機事故消火救難総合訓練等を通じた外部訓練への参加 2.地域住民参加型の院内防災訓練の継続		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
6-2 労働者の健康管理への支援	①認定産業医のスキルアップ	a.認定産業医のための研修会の開催	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.産業医部会事業として研修会等の開催を継続する ・総会は書面決議となった		
	②地域産業保健センターと協働した健康管理	a.地域産業保健センターとの連携・協働	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.従業員50人未満の事業所に対し、地域産業保健センターを中心に健康管理活動を継続する		
6-3 園児・学童の健康管理への支援	①健康管理支援体制の強化	a.教育委員会及び学校等との連携強化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.学校医部会・園医部会の活動を通じて学校等との連携の強化に努める ・総会は書面決議となった。スキルアップ研修会を12月、2月に開催 ・医師不足について、益田市教育委員会と協議した		
		b.養護教員等の医療知識向上の協力	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.学校医部会・園医部会の活動を通じて養護教員等の医療知識向上に協力する		
6-4 地域への啓発活動	①医師会主催のイベント・講演会等の見直しと活性化	a.医師会まつりの活性化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会まつりの活性化に向け検討結果を具体化する→中止		
		b.その他イベント・講演会等について、マンネリ化の回避	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.イベント・講演会等の検証と先進事例調査等に基づき見直しを行う 【統括部】 1.地域住民への普及啓発のため「あんきな座談会」を10回開催		
6-5 地域社会貢献の検討	①可能な地域社会貢献の検討と促進	a.現体制で何ができるのか検討と社会貢献の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会員アンケート調査等の結果を踏まえ可能な社会貢献について検討する		1.現在の活動状況を確認 2.生きがい活動の推進を目的とした活動として、外出支援や、土曜日の通りハスペースの有効活用について検討を行った
	②会員・職員の地域活動に対する支援	a.地域社会活動への会員の参加促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.情報提供等を行い参加の促進に努める 2.地域住民の参加でき、地域での暮らしを支援する企画を検討する		
		b.地域社会活動への職員の参加促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会議等を通じ啓発を行い、参加の促進に努める		
6-6 地域社会活動の支援促進	①地域社会活動に企業ボランティアとしての支援方法の検討	a.地域社会活動に継続的に支援できる方法の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.地域社会活動へ医師会としての支援の方法について検討する		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	事業報告	事業報告	事業報告
		b.地域イベントに医師会救護班等の人的支援の促進の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.引き続き医師会の人的資源を活用した支援について推進する 2.引き続き医療救護班への派遣、地域行事・学校行事への派遣等を実施		
7 安定した経営基盤の確保			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	事業報告	事業報告	事業報告
7-1 医師会組織の安定した経営基盤の確保	①中長期計画の着実な実行のための組織・体制の構築	a.効率的でわかりやすい組織の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.中長期計画の着実な実行のための組織・体制づくり（地域医療介護ビジョン会議を開催） 2.中長期計画の見直しと第4期実施計画（R05年度スタート）の作成 ・プロジェクトチーム会議随時開催。各部門に意見聴取し作成。3月の臨時総会で承認		
		b.ガバナンス体制の構築	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.公益法人運営の重点事項として、しっかりとした統治が行える体制の構築について不断の努力を行う		
		c.規則・規程等の見直しとコンプライアンスの徹底	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.規則、規程類を整合性・不備等について検証し、必要な見直しを行う 2.公益法人運営の重点事項としてコンプライアンスの徹底について不断の努力を行う		
	②コスト意識と法律に基づく適正な会計の実施	a.コスト意識と、経営への参画意識の醸成	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.研修及び勉強会等の実施により、経営の安定があつて、発展につながるとの意識を持った組織を目指す 2.業務の改善に当たっては、常に費用対効果を判断基準のひとつにおき推進する		
		b.コスト管理を重視したシステムの導入 ・原価計算の導入 ・業務の外部委託の是非 ・業務効率化のための本部システムの検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.事業ごとの病棟別等収支状況の分析を継続する 2.電子帳簿保存制度等の導入についての検討を行う。 3.インボイス制度の導入準備を行っている。（追加項目）		
7-2 病院 一般病棟の安定した運営	①計画的な一般病棟の利用促進	a.3か年による病棟再編計画の策定	⇒	⇒	⇒		1.令和元年～3年の病棟再編計画の検証と、国の計画延長による更なる検討を継続する 2.2026年度、新たな地域医療構想の開始に向けて情報収集を開始した	
	②利用率低下への対応	a.患者情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床稼働率、在院日数、必要度の動向把握	1.4階病棟の在り方とPCFMの確立 2.集計した患者情報を活用して、医療センター内での患者コントロールに生かす	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
		b.かかりつけ医・周辺施設と患者情報の共有による効果的なベッドコントロールの実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れ 2.センター内の患者移動（病院～老健～在宅間の流れ）を効果的にする 3.周辺施設との入退院連携を進める	1.会員との情報交換の充実 2.周辺施設との連携強化 3.病床活用カンファレンスの有効利用	
		c.紹介件数の向上	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れ 2.患者数確保ため会員へ空床情報を提供 3.会員訪問結果を活用し、紹介しやすい体制をつくる 4.在宅療養後方支援病院の活用推進	1.会員・近隣病院・介護事業所に病院情報等の提供 2.近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保 3.紹介栄養指導（集団・個人）の継続	
	③収益の増収方法の検討	a.診療報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.診療報酬・介護報酬改定の際の算定できる加算等の研究と算定方法の検討 2.療養病棟、回復期リハ等の入院料維持のための迅速な病棟間連携 3.地域包括ケア病棟の更なる活用	
		b.診療報酬外収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.個室の利用促進	
7-3 病院 地域包括ケア病棟の安定した運営	①計画的な地域包括ケア病棟の運用	a.3か年による病棟再編計画の策定	⇒	⇒	⇒		1.令和元年～3年の病棟再編計画の検証と、国の計画延長による更なる検討 2.地域包括ケア病棟の更なる活用	
	②利用促進方法の検討	a.患者情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床稼働率、在院日数、必要度の動向把握	1.地域包括ケア病棟の在り方とPCFMの確立 2.集計した患者情報を活用して、医療センター内での患者コントロールに生かす	
		b.かかりつけ医・周辺施設と患者情報の共有による効果的なベッドコントロールの実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れ 2.センター内の患者移動（病院～老健～在宅間の流れ）を効果的にする 3.周辺施設との入退院連携を進める	1.会員との情報交換の充実 2.連携会議（益田赤十字病院）の継続など周辺施設との連携強化 3.病棟活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る 4.自宅等からの地域包括ケア病棟への受入（レスパイトの受け入れも必要）	
		c.紹介件数の向上	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れ 2.患者数確保ため会員へ空床情報を提供 3.直入患者の受入を増やす 4.在宅療養後方支援病院の活用推進	1.会員・近隣病院・介護事業所に病院情報等の提供 2.近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保 3.紹介栄養指導（集団・個人）の継続 4.リハ目的の入院患者数の増加	
	③収益の増収方法の検討	a.診療報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.診療報酬改定の際の算定できる加算等の研究と算定方法の検討 2.患者確保と迅速な病棟・施設間連携	
		b.診療報酬外収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.個室の利用促進 2. RE-Gait の導入を行い、活用促進のため研修会を実施した	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
7-4 病院 特定病棟（回復期リハ・特殊疾患・医療療養病棟）の安定した運営	① 計画的な特定病棟の運用	a. 3か年による病棟再編計画の策定	⇒	⇒	⇒		1. 令和元年～3年の病棟再編計画の検証と、国の計画延長による更なる検討	
	② 利用者減少への対応	a. 患者情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 対象患者の情報収集をし、待機者確保により病床稼働率を上げる	1. 患者・利用者の流れ（PCFM）の確立（Patient Client Flow Management） 2. 集計した患者情報を活用して、医療センター内での患者コントロールに生かす	
		b. 効果的なベッドコントロールの実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 統括部カンファ、病床活用カンファ、医療・介護連携委員会での管理体制強化。困難ケースの洗い出し、在宅部門からの受入れ、受け入れ病棟の選定 2. 紹介患者のスムーズな受け入れ	1. 会員との情報交換の充実 2. 連携会議（益田赤十字病院）の継続など周辺施設との連携強化 3. 病棟活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る 4. 患者確保と迅速な病棟・施設間連携	
		c. 紹介件数の向上	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 圏域外慢性期病院からの紹介の促し、状態の把握 益田日赤、六日市病院、萩慈生病院と検討中。益田日赤での出張転院相談の継続 2. 居宅介護支援事業所からの紹介の促し	1. 会員・近隣病院・介護事業所に病院情報等の提供 2. 近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保 3. 紹介栄養指導（集団・個人）の継続	
	③ 収益の増収方法の検討	a. 診療報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1. 診療報酬改定の際の算定できる加算等の研究と算定方法の検討 2. 常に次期改定を視野に入れて、情報を蓄積し対応策を検討する 3. 療養病棟 1、回復期リハ 1 の維持	
		b. 診療報酬外収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1. 調査・検討を続ける	
	④ 回復期リハ病棟の効率的な運用	a. 回復期リハ病棟に関する情報収集と分析	⇒	⇒	⇒		1. 回復期リハ病棟の在り方と PCFM の確立	
		b. 回復期リハ病棟の施設基準 3 の維持と 1 への取り組み	⇒	⇒	⇒		1. 治療成績（FIM）の向上検討・対策へ計画をシフトする 2. 回復期リハ病棟入院基本料 1 の維持 3. 早期の受け入れ、1日に2名の入院受入 4. 明確な病棟目標の明示と目標達成への取組 ・実績指数 40 点以上 ・入院期間利用率 55%以下 ・重症度割合 25%以上 ・発症から入棟までの期間 28 日 ・発症から 30 日以内の入棟者 60%以上 ・専任の管理栄養士配置を見据えて、リハビリテーション総合実施計画書の書式変更や益田赤十字病院との連携の推進 5. 4 階病棟から回復期リハ病棟への流れの促進 6. 回復期リハ病棟からくにさき苑（通所リハ・短期入所）への流れの促進	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
		c.回復期リハ病棟の治療成績の集計分析	⇒	⇒	⇒		1.患者獲得への分析・検討を行う ・リハ科と回復期リハ病棟スタッフでの合同勉強会の実施 ・看護師と療法士を公式な FIM 研修会へ派遣 ・適正な評価につながるための定期的な勉強会の開催 2.地域住民や他の医療機関に啓発・営業活動を行う	
		d.回復期リハ病棟入院対象者の拡大や入院体制の見直し	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れを検討 2.周辺施設、特に日赤との連携を進める 3.益田日赤での出張転院相談継続実施 （コロナの状況を見て実施予定）	1.廃用症候群などの入院受け入れ体制の確立 2.入院までの期間の短縮 3.在院日数の短縮の検討	
	⑤特殊疾患病棟の効率的な運用	a.特殊疾患病棟に関する情報収集と分析と目指す方向性	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れを検討 2.周辺施設、特に日赤との連携を進める 3.益田日赤での出張転院相談継続実施 （コロナの状況を見て実施予定）	1.特殊疾患病棟の在り方と PCFM の確立 2.入院対象者の確保と対象外のバランス確保 3.入院料、加算対象者の受け入れ強化 4.医療・看護対応力の強化 5.明確な病棟目標の明示と目標達成への取り組み	
	⑥医療療養病棟の効率的な運用	a.医療療養病棟に関する情報収集と分析と目指す方向性	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.入院基本料 I 堅持のための患者確保 2.紹介患者のスムーズな受け入れを検討 3.周辺施設、特に日赤との連携を進める 4.益田日赤での出張転院相談継続実施 （コロナの状況を見て実施予定）	1.医療療養病棟の在り方と PCFM の確立 2.療養病棟入院基本料 1 の維持 3.在宅復帰機能強化加算の取得 ・年間 7 名の一般・包括からの入院受け入れ、在宅退院（介護医療院可能） 4.出来高算定項目への対応 5.医療・看護対応力の強化 6.明確な病棟目標の明示と目標達成への取り組み 7.入院透析の受け入れ 8.リハが必要な疾患が発症して 30 日以内の受け入れ 9.施設・在宅からの軽度の増悪の受け入れ 10.医療療養病棟の在り方についての理解 11.医療療養病棟の長期患者の介護医療院への移動により、介護医療院において加算 （長期療養生活移行加算：1 日につき 60 単位（入所日から 90 日間に限る））	
	⑦他組織（介護保険サービス）との連携強化による増収	a.退院後の調整強化	⇒	⇒	⇒		1.地域医療介護連携統括部と共働し、医師会内介護事業所との連携方法について検討する 2.患者・利用者の流れ（PCFM）の確立 3.在宅患者の機能維持・介護維持への取り組み	
		b.退院調整関係の診療報酬の増収対策の検討	⇒	⇒	⇒		1.地域医療介護連携統括部との連携・共働し増収対策について検討する	
		c.会員医療機関連携による診療報酬増収の対策の検討	⇒	⇒	⇒		1.会員と連携することで算定できる加算について検討する（在宅療養後方支援病院、退院時共同指導等） 2.会員医療機関が、在宅療養支援診療所を取得できる支援体制の検討を行う	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
7-5 病院 介護医療院の安 定した運営	①計画的な介護医療院 の運用	a.3か年による病棟再編計画の策定	⇒	⇒	⇒		1.令和元年～3年の病棟再編計画の実行の検証と計画延長による更なる検討 2.介護医療院（＝在宅）への流れの構築を継続する 3.介護医療院の機能・メリットを生かした運営を継続する 4.令和3年度介護報酬改定 LIFE への対応を継続する	
	②利用者安定確保	a.患者情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒		1.集計した患者情報を活用して、医療センター内での患者コントロールに生かす 2.介護医療院の在り方と PCFM の確立 3.介護医療院の機能・メリットを生かした利用者の選定	
		b.効果的なベッドコントロールの実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.受入要件・基準の見直し 2.有効なベッド利用ができるよう、部署と相談・調整を行う（変更） 3.周辺施設、特に日赤との連携強化 4.日赤での出張転院相談継続実施（コロナの状況を見て実施予定）	1.会員との情報交換の充実 2.連携会議（益田赤十字病院）の継続など周辺施設との連携強化 3.病床活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る 4.介護医療院のメリットの活用 5.介護医療院における短期入所の検討 6.医療療養病棟の長期患者の介護医療院への移動により、介護医療院において加算（長期療養生活移行加算：1日につき60単位（入所日から90日間に限る）） 7.在宅復帰支援加算取得の検討	
		c.紹介件数の向上	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れを検討	1.会員・近隣病院・介護事業所に病院情報等の提供 2.近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保	
	③収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.算定できる加算等の研究と算定方法の検討 2.セラピストの介入、排泄ケア加算等の検討 3.令和3年度介護報酬改定への対応 4.リハビリテーションの提供を強化 5.歯科衛生士の採用及び、リハ科への配置を行った	
		b.介護報酬外収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.介護報酬外収益の検討	
7-6	①計画的な介護老人保健施設の運用	a.3か年によるくにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの策定	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.長期利用者、入所・短期入所、通所リハの適正な振り分け。		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
介護老人保健施設の安定した経営	②入所系サービス・入所利用者の安定的確保	a.幅広い高齢者を受け入れるための体制強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.松ヶ丘病院との連携強化（松ヶ丘病院退院後の受入れ、認知症患者の受入れ要請など）		1. 病床活用カンファレンス・医療介護連携委員会の活用により、入院日数の調整や老健の空床数抑制につながった 2. 幅広い高齢者を受け入れるため、計画的に訓練機器等を整備した 3. 認知症対応力向上のための取り組みの推進 ・認知症短期集中リハビリテーション実施を目指し、医師が研修を受講した（7月） ・施設内勉強会の企画をした ・離苑時の対応に防犯カメラを活用することを周知した ・新しい評価を導入した（リハビリ） 4. Lot.AI等、ロボットの活用を検討した ・山陰パナソニックの実証実験継続中 ・次年度以降も検討を継続することを決定した
		b.変化する利用者動向に対応した運営の強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.長期利用者、入所・短期入所、通所リハの適正な振り分け		1. 随時、益田赤十字病院・松ヶ丘病院相談員と情報交換を行い利用対象者（状況により急性期でも）の相談・調整を行い、日赤より7名、松ヶ丘より1名の受入れをした 2. 市内の高齢者数や認定者数の把握を行った
		c.リハビリテーション目的の利用者を増やすための取り組み	⇒	⇒	⇒			1. リハ科と協働し、病院 MSW との連携により、一般病棟より26名、地域包括ケア病棟より23名、回復期リハ病棟より5名受入れ。回復期リハ病棟より通所リハ3件紹介があった 2. 利用率が低下する時期の利用促進対策および退所後の在宅支援として、ロングショートの利用促進を行った 3. 必要に応じ、短期間集中的（週4～5回）に個別リハを実施した
	③短期入所サービスの適切な運用	a.利用者数の適正化・維持を図る	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.適正な数の設定		1. 入所を優先しながら、10人程度の稼働の維持に努めた（平均11.5人）
		b.空床の利用促進	⇒	⇒	⇒			1. 空床連絡に加え、適宜、居宅介護支援事業所や関係機関へ個別に紹介依頼を行った 2. 利用待機者を準備し、空床発生の迅速な調整に努め利用者を確保した
	④通所リハビリテーション機能強化等	a.効率的な運営の検討	⇒	⇒	⇒			1. 曜日による利用者数の偏りを解消するため、予防の利用方法の見直しを検討することを決定した 2. 現状調査・分析、検討を継続した
		b.リハビリテーション機能のあり方（強み）についての検討	⇒	⇒	⇒			1. 短期集中通所型サービスCの開始に向け検討を行った。概要の検討は次年度実施する
	⑤収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒			1. 継続的に利用者数の確保に努めた（一日平均入所者92人） 2. 科学的介護推進加算の算定を開始し（4月）、約130万円の増収となった 3. 在宅復帰支援機能超強化型を維持した

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
7-7 居宅介護支援事業所の安定した経営	①計画的な居宅の運用	a.3 か年によるくにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの策定	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.東部・中部地域包括支援センターケアマネジャーの兼務体制を検討 2.統括部内の人事異動により活性化を図る		
	②利用者の安定的確保	a.新規利用者獲得策の立案	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市内他地域包括支援センターとの情報交換促進、連携強化（ex.定例会開催） 2.医療相談員・支援相談員からの情報提供・依頼に対する検討		1.状況に合わせて、適切な新規利用者数確保の対策の検討を行った
	③効率的な経営基盤の確立	a.効率的な運営具体案の実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.東部・中部地域包括支援センターケアマネジャーの兼務体制を検討 2.管理者の養成 3.医療相談員・支援相談員の居宅ミーティング参加により、潜在的な利用者の発掘を行う		1.居宅ミーティング・南棟ミーティングを活用して検討した
		b.ケアマネジャーの質の確保	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.東部・中部地域包括支援センターケアマネジャーの居宅介護支援事業所兼務を検討 2.統括部内の人事異動により活性化を図る 3.男性ケアマネジャーの確保 4.特定事業所加算Ⅱの取得		1.事例検討会を行い、ケアマネジメント技術の向上を図った
	④収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.マンパワーを見据えた受入れ件数の再設定		1.より多くの加算がとれるよう、情報収集と体制づくりに努めた
7-8 訪問看護ステーション等の安定した経営	①計画的な訪問看護の運用	a.3 か年によるくにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの策定	⇒	⇒	×			令和3年度完了
	②効率的な経営基盤の確立	a.病院、施設との連携強化	⇒	⇒	⇒			1.必要に応じて、センター管理会を活用し、医師会病院からの利用の促進を図った
		b.独自のサービスの立案・推進	⇒	⇒	⇒			1.インフォーマルサービスについて検討する インフォーマルサービスのニーズや人員が少ないため中止
		c.セラピスト訪問によるリハビリ提供の積極的な実施	⇒	⇒	⇒			
③収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒			1.個々の訪問看護師の働き方に合わせて訪問調整を行った	
7-9 ホームヘルプ事業所の安定した経営	①計画的な訪問介護の運用	a.3 か年によるくにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの策定	⇒	⇒	×			令和3年度完了
	②利用者の安定的確保	a.新規利用者獲得策の立案	⇒	⇒	⇒			1.サービス提供体制を確認しながら、新規利用者確保のために、各介護事業所に働きかけを行う。10月末で休業になったため中止
	③効率的な経営基盤の確立	a.効率的な運営具体案の実施	⇒	⇒	⇒			1.改定した訪問記録用紙を活用して事務作業の効率化を図った 2.災害時用 BCP を策定。感染症発生時の対応を確立する。10月末で休業のため中止

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
	④収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒			1. 認知症加算の算定を目指して、認知症実践者研修を受講する。10 月末で休業のため中止
7-10 訪問リハビリテーションの安定した経営	①計画的な訪問リハの運用	a.3 か年による病棟再編計画、くにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの策定	⇒	⇒	⇒		1.令和元年～令和3年の病棟再編計画、くにさき苑事業部短期ビジョン推進プランを実行する	令和3年度完了
	②訪問リハビリテーションの利用者確保	a.効率的な運営のための具体策立案	⇒	⇒	⇒		1.くにさき苑入所利用者への広報活動を実施 2.医療センター内での潜在利用者の掘り起し	
		b.地域のニーズに対応するための具体策立案	⇒	⇒	⇒		1.利用者の需要調査を継続実施する 2.圏域内の他事業所の事業を把握する 3.リハ診察困難者への対応	
	③収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.診療報酬改定の際の算定できる加算等の研究と算定方法の検討 2.実施件数や実施期間などの分析と検討体制の確立 3.訪問リハの手引きの修正体制の確立 4.センター内および他機関（開業医、他の医療機関、居宅介護支援事業所、行政など）への定期的な啓発活動のシステム化 5.病院訪問リハ療法士の確保（合計6名） 6.病院訪問リハの回転率 90%～60%に調整方法の確立（病院目標：4680単位/年）	1.判定会で対象者を検討し、利用者数の確保に努めた 2.移行支援加算算定を維持した
7-11 地域包括支援センターの安定経営	①事業実施に必要な受託費用の確保	a.益田市との予算協議の継続	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.適正な予算確保に向けた益田市と協議を継続する 【統括部】 〈中部〉 1.新設センター開設後、継続運営に適切な事業費の検証を行い、市との協議		
		a.益田市との連携を図りながら適切に運営する	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市との協力体制の構築 ・感染症等での人員体制不足時 ・配置のない専門職の分野 2.連絡会議 3.巡回訪問		
	②東部地域包括支援事業の安定運営	b.地域・関係機関との連携構築	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.地域や関係機関へ新体制の周知とネットワーク構築 2.地域ケア会議の開催 (種地区での総合相談の依頼あり対応)		
		c.地域住民への周知	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市と協力し、新体制の周知を図る 2.地域に出向き、住民へ相談窓口や介護予防の啓発活動実施 (種地区での総合相談の場を設定し、定期的実施)		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
③中部地域包括支援事業の安定運営		a. 益田市との連携を図りながら適切に運営する			⇒	【統括部】 1. 益田市との協力体制の構築 ・感染症等での人員体制不足時 ・配置のない専門職の分野 2. 連絡会議 3. 巡回訪問 4. センターの好立地を活かし益田市各課との連携をより強化する		
		b. 地域・関係機関との連携構築			⇒	【統括部】 1. 地域や関係機関へ新体制の周知とネットワーク構築 2. 関係機関、地域組織等への訪問実施 (吉田地区の健康教室に健康増進課と参加)		
		c. 地域住民への周知			⇒	【統括部】 1. 益田市と協力し、新体制の周知を図る 2. 地域に出向き、住民へ相談窓口や介護予防の啓発活動実施 (吉田地区の健康教室に参加)		
④東部指定介護予防支援事業の安定運営		a. 安定運営	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 東部中部のスムーズな引継ぎの実施 2. 市のマニュアルに沿って、適切な介護予防支援・介護予防マネジメント支援を行う 3. 確実な保険請求体制の構築		
		b. ケアプラン作成の効率化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 市の提示するマニュアルに即したケアプラン作成の標準化 2. 全体最適を視野とした業務効率化と実績件数の増加		
		c. 関係機関との連携強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1. 委託事業所、サービス事業所等関係機関との情報交流や連絡連携体制の確立		
⑤中部指定介護予防支援事業の安定運営		a. 安定運営			⇒	【統括部】 1. 東部中部のスムーズな引継ぎの実施 2. 市のマニュアルに沿って、適切な介護予防支援・介護予防マネジメント支援を行う 3. 確実な保険請求体制の構築		
		b. ケアプラン作成の効率化			⇒	【統括部】 1. 市の提示するマニュアルに即したケアプラン作成の標準化 2. 全体最適を視野とした業務効率化と実績件数の増加		
		c. 関係機関との連携強化			⇒	【統括部】 1. 委託事業所、サービス事業所等関係機関との情報交流や連絡連携体制の確立		
⑥中部圏域移設に向けた検討		a. 移設後の体制を検討	⇒	⇒	×	1. 令和4年4月1日開設のため終了		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
7-12 へき地医療施設の 安定経営	①益田市国民健康保険 医療施設の安定経営	a.地域ニーズに基づく安定した経営を行う	⇒	⇒	⇒	【事業本部・美都診療所】 1.益田市と情報共有を密に図り、地域ニーズに 適応した運営に努める		
		b.指定管理者として益田市と共同でして運営を 行う	⇒	⇒	⇒	【事業本部・美都診療所】 1.指定管理者として益田市と連携し安定運営に 努める		
		c.在宅医療（へき地医療を含む）を維持するた めの体制の検討			⇒	1.1-②-gと同じ		
	②へき地巡回診療出張 所の安定経営	a.無医地区への医療を提供する体制を維持する	⇒	⇒	⇒		1.巡回診療体制の継続	
		b.益田市と共同で住民ニーズにあった経営を行う	⇒	⇒	×		令和3年9月13日小野診療所開設のため終了	
		c.運営補助金の確保	⇒	⇒	⇒		1.継続して行う	
8 人材の確保・育成と働きやすい職場づくり			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	事業報告	事業報告	事業報告
8-1 計画的な人材の 確保と育成	①医師会職員への教育 体制の充実	a.研修体制の整備と研修機能の充実	⇒	⇒	⇒		1.全体の教育体制を検証しキャリアプラン形成へ の制度化及び支援	
		b.新専門医制度への対応	⇒	⇒	⇒		1.制度・先進事例等の調査 2.新専門医制度への対応の検討 3.専門医育成計画の策定	
		c.研修医受け入れ体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.各種学会の指定施設となるために各基幹大学 や病院との連携に努める 2.益田赤十字病院と協議（医学生の受入れも 含め）し、必要な条件整備を行う	
		d.認定看護師、特定行為のできる看護師等の資 格取得の促進	⇒	⇒	⇒		1.意欲と適正を見極め認定看護師、特定行為 のできる看護師等の資格取得を促進する	
		e.管理職、管理職候補者研修の充実	⇒	⇒	⇒		1.各職種にあった管理職研修への参加を促進 2.職能団体が実施する研修に参加	
	②医師の求人活動	a.医師確保対策に努める	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.病院事業部と連携し確保に努める	1.勤務病院選定理由等調査・分析 2.医師確保条件整備の検討 3.島根県（医師確保対策室）への働きかけと 連携強化 4.島根大学等への働きかけと連携強化を継続す る 5.卒後教育・研修プログラムの検討 6.学会認定施設の取得を目指す 7.M3キャリアとの個別契約の実施 8.医師の働き方改革への対応への検討 9.繋がりの継続	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
		b.医師招聘につながる処遇の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師の働き方改革への対応 2.給与制度改革で調整した新医師給与・諸条件を提示する。	1.他病院等における状況について調査する 2.調査内容について分析する 3.就職希望医師の雇用形態別処遇の検討 4.当院にあった雇用形態のあり方を検討する 5.医師の働き方改革への対応への検討	
		c.親父の背中プログラムの継続	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.合同会社ゲネプロとの連携維持 2.プログラムの継続とブラッシュアップ 3.合同会社ゲネプロとの契約内容について検討	1.ゲネプロとの連携を継続して実施している 2.親父の背中プログラムの継続とブラッシュアップを継続する 3.医師会病院が求める医師像の確立し候補医師に伝えている	
③職員の安定確保		a.採用困難職種の採用促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.採用促進のための新たな制度を検討していく。 2.人材紹介会社を活用した即戦力確保を行う 3.既退職者等へのリクルート体制を整備しコンタクトを図る	1.不足する専門職の欠員を補うため、業務内容を整理し、補助員の雇用等を含めた定員の見直しを行った 2.潜在資格の掘り起し及びその職場を志向する職員の調査を行う 3.上記定員の見直しを基に、将来を見据えた5年程度の採用計画を立てる（機能再編・人口構造・職員の年齢構成等）	
		b.採用活動の徹底	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.WEB、SNS、パンフレット等を活用した情報発信を適宜実施 2.学校訪問、就職セミナーへの参加、ハローワーク等就職斡旋団体等を利用した採用活動を適宜実施 3.中高での企業参加イベント等に参加し、医療に目を向ける学生を増やす取り組みを継続する	1.WEB、SNS、パンフレット等を活用した情報発信を行う 2.学校訪問、就職セミナーへの参加、ハローワーク等就職斡旋団体等を利用した採用活動を行う 3.中高生への働きかけ強化し、医療に興味を持つように、学生への早期に関係づくりを行っていく	
		c.給与制度の見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.人事給与制度改革により新たに設定した給与体系を新卒採用に効果的に活用する 2.人事給与制度の改定の検証とより効果のある制度へのブラッシュアップ 3.応募動向の変化を分析する	1.競争力のある採用困難職種の初任給、各種手当等の見直しの実施	
		d.採用方法の検証と改善	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.求める人材像の明確化するため、採用基準・方法等を再検証して、必要な人材の確保に努める	1.求める人材像の明確化するため、採用基準・方法等を再検証し、必要な人材確保に努める 2.事務で行う適性検査について、試験結果と採用後の状況を検証し、他職種採用試験の改善を図る	
		e.多様な雇用の推進・検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.令和4年4月より新たな高齢者継続雇用（再雇用制度）を実施調整する。 2.高齢者継続雇用、障害者雇用、多様な働き方の受け皿として、業務支援課設置を目指し準備室を設置し体制検討を開始する。 3.介護技能実習生受入れがもたらす効果の分析を行う。	1.高齢者雇用、障害者雇用の推進 2.介護技能実習生の受入れ	
				⇒	⇒	⇒		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
			02	03	04	事業報告	事業報告	事業報告
④人材の育成		a.キャリア形成の支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.自己啓発に取り組む環境の醸成のため、経費補助や休暇制度等の導入を検討する	1.令和4年度病院機能評価受審を機会とし、管理職教育の実践の場として活用する	
		b.管理職教育（経営・組織運営、労働関連法、人権、ハラスメントほか）の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.管理職の教育制度を構築する 2.計画的な研修制度を整備し、定期的な研修を実施する。	1.令和4年度病院機能評価受審を機会とし、管理職教育の実践の場として活用する	
		c.職員教育体制の構築	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.職業人として必要な諸制度（労働基準法、労働安全衛生法、人権、ハラスメント他）についての教育方法について検討し制度化する 2.職種別の教育方法について検討し制度化する	1.令和4年度病院機能評価受審を機会とし、管理職教育の実践の場として活用する	
		d.機能強化・安定運営等に必要な研修受講・資格取得の推進	⇒	⇒	⇒		1.部門長・部署長による研修参加の奨励 2.適切な研究研修費の割り当てを行う 3.各部門・部署独自の研修体制の構築	1.各種資格取得の推進 ・認定特定行為業務従事者1名 ・介護支援専門員1名 ・介護実習指導者1名 ・老健リスクマネジャー2名受講、R5年度受験予定 ・第1種衛生管理者。コロナ蔓延により事前研修会受講できず中止 2.各種研修受講 ・認知症介護実践研修1名 ・権利擁護研修会1名 ・高齢者ケアにおける倫理研修1名 ・外国人技能実習制度、各種講習 3.県老健協会企画検討委員会で加算や施設基準に関わる研修会の開催を提案し、BCP関連等の研修会が企画された 4.外国人技能実習生受入れのためのプログラムや手順書の作成を行った 5.外国人技能実習生入職（3月）
⑤研修生、実習生の受入れ体制の整備		a.実習担当者の育成	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.石見高等看護学院等実習生の指導者を計画的に養成する		
		b.研修生、実習生の受入れの促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.魅力ある実習環境の整備ためソフト面での充実を行う 2.ベトナム介護技能実習生の受入事業のため環境整備を行った。 ・2月に2名の実習が入国し3月に勤務開始となった。		
⑥医学生・看護学生への就学支援		a.奨学金制度の活用促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.修学資金貸付対象者等、制度運用の見直しを検討する 2.ホームページ・求人ちらし等においてPRに努める 3.近隣高校を通じたPR活動を行う		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
		b.石見高等看護学院との連携強化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.引き続き定期的な人事交流と必要な非常勤講師の確保に努める 2.意見交換会の実施 3.新型コロナウイルス発生時の受入体制について再検討を行う。		
8-2 働きやすい職場 環境づくり	①常勤医師の負担軽減	a.常勤医のニーズの把握し問題点の把握や課題を洗い出す	⇒	⇒	⇒		1.医師の働き方改革への対応を継続する 2.常勤医師ニーズ等調査を実施する 3.精神面のフォロー体制（医師同士が支え合える医局を作る）の構築について検討する 4.医局会・モーニングカンファレンス等への参加について徹底する	
		b.課題への対応策検討、実施する	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.人事給与制度改革により、新しい医師給与体系による働き甲斐のある勤務条件を整えることで定着化を目指す。	1.勤務医・看護職員負担軽減策定委員会の活性化を図る	
		c.常勤医の休日・夜間の支援体制の整備	⇒	⇒	⇒		1.休日・夜間の支援体制の充実について検討、併せて休日・平日当直についての協力要請を行う	
		d.タスクシフト・タスクシェアの推進	⇒	⇒	⇒		1.ワンチーム（多職種連携）での取り組み強化を推進した 2.多職種の病棟配置の調査・検討・実施	
	②職員が安心・安全・健全に働ける健康経営の推進	a.ハラスメント対策・体制の整備	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.ハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）防止の組織的な推進。 2.ハラスメント行為に対する処分方針を明確にする 3.広く職員の声を拾い上げる仕組み（意見聴取方法や体制）について検討を行う		
		b.職員の健康保持・増進活動の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.健康経営宣言に基づき、職員の健康管理活動（健診結果のフォローや禁煙サポート等）や余暇時間を利用した健康づくり活動（リハ機器の時間外利用・運動教室等）を推進する 2.心の健康づくり活動（ストレスチェック、カウンセリング、職場復帰プログラム等）を推進する 3.日本健康経営 2023 への申請し3月に認証された。		
		c.福利厚生活動の見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.福利厚生制度の検証と見直しについて検討する 2.福利厚生活動について職員への周知を図る		
		d.安心・安全・健全職場環境づくりの推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.衛生委員会等の活動を通じて、継続して職場環境の保持・改善を目指す 2.双葉会事業等を通じ部署内外の人間関係構築を支援する 3.職員への情報発信に努める	1.職業病ともいわれる腰痛予防のための、介護ロボット導入等の検討	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
	③女性が活躍できる職場環境づくりの推進	a.仕事と育児・介護の両立を支援する環境の整備	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.育児・介護関連休暇制度が取りやすい環境づくりを行う		
		b.職員保育所の安定運営	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.時間外利用等の改善を図り、利用しやすい保育所を目指す。 2.感染対策を強化し職員の意識を高め安心・安全な保育を実施する。		
		c.ワークライフバランスの推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.時間外・休日労働の削減、有給休暇の取得促進（計画付与）などの徹底を図る		
	④多様な働き方に対応できる雇用制度の検討・整備	a.限定正職員（夜勤のできない看護職）、短時間正職員（フルタイムで働けない職員）等の雇用制度を検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.人事給与制度改革に基づき、働き続けられる制度の整備について検討する 2.新たに多様な雇用制度を令和4年4月1日に導入 3.新たな雇用制度の検証を行う。		
		b.定年退職の延長、再雇用制度の見直し検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.定年時期の延長について検討する 2.再雇用制度について検討する（再雇用期限や再雇用条件等） 3.コース別の新再雇用制度を令和4年4月1日に導入 4.新たな雇用制度の検証を行う。		
8-3 労働意欲の向上につながる人事、給与制度の検討	①人事・給与制度の全般的見直し	a.人事・給与制度の全体的な分析・検証・見直しを実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.分析結果に基づき給与制度を改定する 2.円滑に新たな給与制度の導入を行う 3.新人事給与制度を令和4年4月1日に導入 4.人事給与制度の改定の検証とより効果のある制度へのブラッシュアップ		
	②人事異動方針に基づく適正な人事異動の実施と評価	a.人事異動方針に基づく人事異動の適宜実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.管理職の人事異動および役職登用に係る協議体の設置を行う（人事調整会議の設置） 2.新たに副主任の設置 3.役割等級制度の導入・運用 4.新人事給与制度に伴う人事異動の実施		
	③人事考課制度の見直し	a.人事考課制度の検証・見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.令和3年度に外部コンサルタントにより効果的な人事考課制度への見直しを行った。（職員がGWで評価内容を協議した） 2.令和4年度の目標管理は、紙ベースの目標管理表と人事評価 Navigator の併用で実施（5月） 3.評価者向けの研修会の実施（6月） 4.令和5年3月より新人事考課制度に移行		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
8-4 島根県立石見 高等看護学院の 管理・運営	①島根県との緊密な連携	a.適切な情報交換と意見交換の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.定期意見交換会（運営方針、事業計画、課題等）について年度当初に県庁所管課（医療政策課）と確認するとともに、9月には来年度人員体制、令和5年度当初予算について意見交換を行った。 2.県と連携して、1・2年生を対象とした「看護学生と現場で働く看護師さんとの交流会」を3月10日に開催した。 3.副学院長、看護教員等の任用のあり方について、常に県と課題を共有し、今後の副学院長の任用方針、教務主任の育成方針について協議を行ない、今後も継続的に検討することとした。 4.文科省「新たな学習支援制度」に継続して申請し、学生の経済的支援について県と緊密な連携を図っている。		
	②魅力ある教育カリキュラムの構築	a.2022年カリキュラム改正の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.令和4年4月、1年生を対象に新カリキュラムが実施された。教職員の新たなカリキュラム改正の教育内容についての理解促進を図るとともに、学生にわかりやすいシラバスの策定に取り組んだ。 2.地域と連携した魅力ある看護基礎教育活動として、昨年度島根県西部県民センターをはじめ地元関係団体、施設の協力を得て策定した地域連携実習プログラムを実施した。 3.今後も引き続き、地域での実習教育のあり方検討及び実習施設等との具体的な調整を行い、魅力ある教育プログラムを策定する。 4.カリキュラム改正に伴い必要な予算・経費を確保し、円滑に新カリキュラムへの移行を行うことができた。		
	③入学定員の確保	a.看護師国家試験高合格率の維持	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.年度当初に学院目標、教務部目標を設定し、目標達成に向けた学年教育計画を実施した。 2.看護師国家試験に向け、計画的に模擬試験などの試験対策を実施している。		
		b.広報活動の展開	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.教職員、学生のブログを計画的に更新し、情報発信に取り組んでいる。 2.益田市と協力し、看護学生と地域の子どものふれあい交流事業を12月9日（東仙道小、西益田小、匹見小、戸田小）12月13日（鎌手小）で実施した。 3.益田市・益田市教委員会と共催し、小学生のための看護体験「親子スクール」を3月25日に開催した。		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
						<p>4. 学院の広報の一環として、高等学校等からの学校見学・研修希望には可能な限り対応している。今年度は、益田高校、益田東高校の学校見学を受け入れた。</p> <p>5. 学院の入学式、卒業式を始め、各種行事について、マスコミに情報提供を行い、広報活動を活用している。</p>		
		c. 学生募集活動の促進	⇒	⇒	⇒	<p>【石見高看】</p> <p>1. 夏季休業の期間等を活用し、オープンキャンパスを7月24日（日）8月11日（木）に開催した。県内の高校3年生79名が参加した。</p> <p>2. (株)さんぼうが主催する進学ガイダンス（吉賀高校、浜田会場、出雲会場、松江会場）(株)キッズ・コーポレーションが主催する進路ガイダンス(邇摩高校)に参加した。</p> <p>3. 7月4日（月）、5日（火）、11日（月）、12日（火）、14日（木）、15日（金）の6日間で県内の22の高校を訪問し、進路指導担当教員への状況提供を行った。</p> <p>4. 市町村（公立病院含む）との連携を密にするため、学生の夏季休暇期間を利用して、地域推薦入学生が地元市町に訪問し、地域の関係者と意見交換を行う交流の場を設け、地域推薦入学生の意識の向上と、市町村の受験生確保に向けた意欲の向上に努めた。</p>		
		d. 更なる魅力アップの検討・実施	⇒	⇒	⇒	<p>【石見高看】</p> <p>1. 令和3年度自己点検評価及び各種アンケート結果を外部委員により検証する、「学校関係者評価委員会」を開催（9月22日）し、学院の課題、改善案について意見交換を行い、学院の更なる魅力アップに取り組んでいる。また年度末には、学生、保護者への「学校評価アンケート」を実施し、本学院全教職員による「自己点検評価」を実施した。</p> <p>2. 令和4年度の学院目標を協同の精神を基盤として地域と共に歩む学院づくり～地域に暮らす人々と協力しながら行う看護教育の模索～」とし、本学院の「協同の精神」の理解を深めると共に、とさらなる発展に資するよう取り組んだ。</p> <p>3. 地域社会との連携を念頭に、令和4年度から新教育カリキュラムにおいて「地域との連携・交流教育プログラム」を体系的に整理し、看護教育内容の充実、魅力UPに取り組んでいる。</p> <p>4. 魅力ある入学試験のあり方について、入試委員会において、継続的に検討を行っている。</p>		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
		e. 4年制大学（養成所の4年制化を含む）の調査・検討	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1. 全国の動向を注視し、必要に応じて情報の収集を行うこととしている。		
	④必要な看護教員・講師の確保	a. 関係機関との連携協働による看護教員の育成・確保	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1. 益田市医師会人事担当、益田地域医療センター医師会病院看護部と定期的に意見交換を行い、連携・協働し、看護教員の育成に向けて意見交換を行っている。 2. 将来的な人員体制を想定し、看護教員適任者の計画的育成について、益田市医師会とも検討を続けている。 3. 看護教員資格取得への支援のための予算について、毎年度予算に計上し確保している。		
		b 講師の負担軽減策の検討と実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1. カリキュラム改正に伴う講義日程等の講師調整を行い令和4年度のカリキュラム再編を行った。 2. 円滑な遠隔授業実施のため、引き続き安定した通信環境・実施体制の確保を行っている。 3. 来年度以降の新カリキュラムの実施にあたり、継続的に県及び関係機関等との意見交換を実施し講師の確保に取り組んでいく。		
	⑤看護教員の教授力の向上	a 研修機会の増と、効果的な研修の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1. 島根県教員継続研修(令和4年度/組織力を高める研修)を全教員で受講した。 2. 教員指導力向上研修として、夏期休業期間に「臨床判断能力を育成するための教育方法～能動学習を実践するためのICT教育～」と題して実施した。 3. 各種教員研修への参加支援のための予算を確保する。		
		b 臨床現場研修の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1. 専任教員の臨床現場での指導力向上のための地域研修として、助産院(母性看護学)、松ヶ丘病院(精神看護学)、認知症対応型共同生活介護：グループホーム(老年看護学)、西部島根医療福祉センター(小児看護学)などにおいて、1日～10日間程度の短期臨床研修を計画的に実施した。 2. コロナ禍で長期の臨床研修は受け入れ施設側の事情もあり、実施していない。		
		c 自己研鑽への支援とモチベーションの向上推進	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1. 教員個別のキャリア別達成目標を立て、運用・実践に取り組んでいる。 2. 自己研鑽支援休暇制度を設けているが、コロナ禍で制度の活用はできなかった。		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
		d 学会等への積極的参加	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.学会活動の支援を行うこととしているが、コロナ禍であることも含め、活動は困難となっている。 2.教員の教育研究の取り組みを促進することとしているが、コロナ禍であることも含め、活動は困難となっている。		
	⑥学院環境の整備	a 学び舎として快適環境の整備	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.学生の学内清掃などにより、学生美化意識の高揚及び美化活動の推進を行っている。 2.季節ごとの植栽等の適正管理を継続しており、施設環境を維持に努めている。 3.消火設備や照明設備など、危機管理マニュアルに沿った必要な設備整備を行い、学生の防災訓練を行うなど、設備の適切な運用に取り組んでいる。 4.国、県の指導、実習施設の養成に基づき、継続的な新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施している。		
		b 常時点検による適切な整備の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.関係機関の施設・設備の点検、教員の教育備品のチェックを行うことにより、必要な予算確保のため予算要求を行っている。 2.重要物品をはじめとした備品台帳（教育備品を含む）の整理を行い、計画的な更新計画を策定する。		
	⑦地域への貢献	a.卒業生の県内就業率の向上	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.3月10日(金)島根県と共催し、県内病院と学生の交流事業を実施し、学生の県内就職支援を実施している。 2.8月18日(木)卒業生のホームカミングデイ事業を実施し(27名参加/リモート含む)、卒業・就職後の状況を把握し、離職防止に取り組んだ。 3.市町村（公立病院含む）との連携を密にするため、学生の夏季休暇期間を利用して、地域推薦入学生が地元市町に訪問し、地域の関係者と意見交換を行う交流の場を設け、地域推薦入学生の意識の向上と、市町村の受験生確保に向けた意欲の向上に努めた。		
		b.地域貢献策の検討・実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.コロナ禍で、学生のボランティア活動への参加を促進することは控えている。 2.コロナ禍で、学院イベントへの住民参加についても控えている。 3.コロナ禍で、地域の看護師との合同研修会の企画・運営は控えている。		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			02	03	04			
						4.地元益田市の要請によりコロナワクチン集団接種会場として、体育館の貸出を行なった。 5.地域の人々との関わりを促進する「地域・看護論」を新カリキュラムの正課の学習として組み込み、地域を知るための看護学習を実施した。		
9 計画に基づく必要な施設等の整備充実			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	事業報告	事業報告	事業報告
9-1 医療センターの新たな施設整備	①医師会施設の計画的整備	a.施設・設備の修繕・整備等計画書作成と実施	⇒	⇒	⇒	1.単年度予算計上のための建築設備工事計画の作成と実施	1.定期的な修繕・設備更新の実施する	
		b.施設管理システムや体制の検討	⇒	⇒	⇒	1.電子マニフェストの導入と運用（2年度導入のため中止） 2.空調システム運用のPDCA管理の実施（継続中）		
	②省エネ、CO2削減対策	a.省エネ新技術の導入促進	⇒	⇒	⇒	1.補助金活用に向けた情報収集の実施		
	③環境の美化	a.総合的な環境美化対策の推進	⇒	⇒	⇒	1.委託業者との契約の見直し（2年度と同内容で再契約） 2.OB会と連携し継続的に活動する。 3.安田自治会の花壇ボランティア活動が終了し、新たな花壇管理体制を検討する。		
	④交流の場の整備	a.交流の場の設置の検討	⇒	⇒	×	1.病棟再編計画での検討を視野に入れる（実現できず）中止		
9-2 施設設備の老朽化への対応	①昭和61年建設病院本館棟の建て替え準備	a.本館棟建替資金の計画的積み立て	⇒	⇒	⇒		1.計画期間（H24年度からR29年度）において、収支相償上の積立限度額範囲内で積立てを行う	
	②介護施設整備を執行	a.益田市事業の検討と要望	⇒	⇒	⇒			1.緊急性・重要性を検討し、運営協議会において要望を提出した
	③地域包括支援センター中部圏域の移設	a.移設後の体制を検討	⇒	⇒	×	1.令和4年4月1日開設のため完了		